

## 日本のグラフィック・デザイナーと版画 Japanese Graphic Designers and Prints

「グラフィック・デザイナー」という言葉が日本で知られるようになったのは、1950年代のことです。1951年には、デザイナーによる全国規模の職能団体である日本宣伝美術会(通称:日宣美)が設立されると同時に、日本初の広告代理店ライト・パブリシティが創業。さらに1959年には日本デザインセンターが発足し、亀倉雄策(1915-1997)を中心に、永井一正(1929年生まれ)、田中一光(1930-2002)ら名だたるデザイナーが活躍しました。青年期に終戦を迎えた若きデザイナーたちが切磋琢磨し、互いを励まし合ったこの時代は、日本のデザイン界における「青春」とも言えるでしょう。

グラフィック・デザイナーのなかには、商業ポスターを手がける一方で、同じ印刷物である版画に関心を示した者も少なくありません。「チームワークと無名の行為」を求められる広告制作とは異なり、自らの個性を存分に発揮できる版画は、彼らにとって魅力的なものだったのです。

本展では、戦後日本を代表するグラフィック・デザイナーによる版画と関連資料を約40点ご紹介します。1968年の「第6回東京国際版画ビエンナーレ展」で東京国立近代美術館賞を受賞した永井一正や、デザインとアートのふたつの領域を横断して創作を続ける横尾忠則(1936年生まれ)、1990年代に味わい深いエッチングを制作した和田誠(1936-2019)らの作品を通じて、グラフィック・デザインと版画の響き合いをお楽しみください。

### 出品作品リスト List of Works \*サイズは全て mm

1~3 永井一正 (Nagai Kazumasa, 1929年生まれ)	(Garumera Shokai) 1965年、1052×737 スクリーンプリント/Screen print	9-2 横尾忠則(Yokoo Tadanori) 《Blue Gorilla with Banana》 1980年、456×356 スクリーンプリント/Screen print
1 《作品C》 Work C 1968年、398×500 エンボス/Embossing	6~7 永井一正(Nagai Kazumasa) 6 《X-1》 1974年、514×514 スクリーンプリント/Screen print	9-3 横尾忠則(Yokoo Tadanori) 《Red Gorilla with Banana》 1980年、455×354 スクリーンプリント/Screen print
2 《BI》 1970年、542×378 スクリーンプリント、エンボス Screen print, embossing	7 《N-22》 1975年、408×407 スクリーンプリント/Screen print	9-4 福田繁雄 (Fukuda Shigeo, 1932-2009) 《犬》 Dogs 1982年、758 x 563 スクリーンプリント/Screen print
3 《CD》 1972年、538×375 エンボス/ Embossing	8 田中一光 (Tanaka Ikko, 1930-2002) 《網・B》 Net B 1977年、345×890 スクリーンプリント/Screen print	9-5 福田繁雄(Fukuda Shigeo) 《犬》 Dogs 1982年、350×265 スクリーンプリント/Screen print
4 《TADANORI YOKOO(自主制作)》 TADANORI YOKOO (Uncommissioned Work) 1965年、1046×754 スクリーンプリント/Screen print	9-1~6 『オリベッティの十二支』より From <i>Olivetti's Twelve Zodiac Signs</i>	9-6 ミルトン・グレイザー (Milton Glaser, 1929-2020) 《牛》 Ox 1985年、4枚組、各567×858 スクリーンプリント/Screen print
5 《A LA MAISON DE M. CIVEÇAWA(ガルメラ商会)》 A LA MAISON DE M. CIVEÇAWA	9-1 ポール・デーヴィス (Paul Davis, 1938年生まれ) 《羊》 Sheep 1979年、400×300 スクリーンプリント/Screen print	

10~15 横尾忠則(Yokoo Tadanori)	15 横尾忠則(Yokoo Tadanori)	21-1~8 『2人のシネマ』より
10 《ターザンがやってくる(青)》	《Utamaro I》 1981年、385×410	from <i>Two-Person Cinema</i>
Tarzan is Coming (Blue)	木版/Woodcut	1998年、エッチング/Etching
1974年、1024×725	16~18 永井一正(Nagai Kazumasa)	21-1 《オルフェ》 ORPHEE
スクリーンプリント/Screen print	16 《SAKURA》	300×250
11-1,2 《MILANO:5》	1982年、380×260、木版/Woodcut	21-2 《道》 LA STRADA
1980年、各 775×562	17 《BOTAN》	300×250
スクリーンプリント/Screen print	1982年、380×259、木版/Woodcut	21-3 《ハリウッド I》
12-1,2 『Botanical Garden』	18 《NAMI》	HOLLY WOOD I 300×250
1981年、各 363×363	19~21 和田誠	21-4 《フレッド&ジンジャー》
スクリーンプリント/Screen print	(Wada Makoto, 1936-2019)	FRED & GINGER 300×250
12-1 《I》 / 12-2 《II》	19 『ねこのシジミ』のための原画	21-5 《カリガリ博士》
13-1,2 『Shanghai Hi』	Original Print for <i>Shijimi the Cat</i>	DAS CABINET DES DR.CALIGARI
2010年、各 760×560	1996年、215×150	225×225
スクリーンプリント/Screen print	エッチング/Etching	21-6 《チャーリー・チャップリン》
13-1 《Nice to See You》	20-1,2 『ガクの絵本』のための原画	CHARLIE CHAPLIN 225×225
13-2 《Yoo Koo Soo》	Original Print for	21-7 《カミング・スーン》
14 田中一光(Tanaka Ikko)	<i>Gaku's picture book</i>	COMING SOON 225×225
《ロープ 原》 Rope Field	1999年、各 200×138	21-8 《メトロポリス》METROPOLIS
1979年、350×228	エッチング/Etching	225×225
木版/Woodcut		

---

## 出品資料リスト List of Materials

- 資料-1 デザイン:横尾忠則(Yokoo Tadanori) 「第6回東京国際版画ビエンナーレ展」カタログ(1968年刊)  
Catalogue of the 6th International Biennial Exhibition of Prints in Tokyo
- 資料-2 画・文:和田誠(Wada Makoto) 『ねこのシジミ』(ほるぷ出版、1996年刊) *Shijimi the Cat* (Holp Shuppan)
- 資料-3 画・文:和田誠(Wada Makoto) 『ガクの絵本』(ほるぷ出版、1999年刊) *Gaku's Picture Book* (Holp Shuppan)
- 資料-4 画・文:永井一正(Nagai Kazumasa) 『つくることば いきることば』(新装版、芸術新聞社、2020年刊)  
*Making Words, Living Words (Tsukuru Kotoba Ikiru Koroba)* (New Edition, Geijutsu Shinbunsha)
- 資料-5 永井一正(Nagai Kazumasa) 『アイデア』第305号(誠文堂新光社、2004年7月刊)より、《竹尾ファインペーパー広告》  
Takeo Paper Products from *Idea*, no.305 (SEIBUNDO SHINKOSHA)
- 資料-6 永井一正(Nagai Kazumasa) 『アイデア』第365号(誠文堂新光社、2014年7月刊)より、《竹尾ファインペーパー広告》  
Takeo Paper Products from *Idea*, no.365 (SEIBUNDO SHINKOSHA)
-